

市立小学校における通知表の誤記載について

港南台第三小学校において、10月11日に配付した前期の通知表の評定に誤記載があることが判明しました。学校は、児童及び保護者に謝罪と説明を行うとともに、誤った通知表を回収して正しいものに差し替えました。

1 誤記載の内容

第5学年1学級のうち1名の評定（算数）

※正しくは評定「3」のところ、誤って評定「2」と記載

【評定】：各教科の「観点別評価」を総括的に評価したもの（小学校は1～3の3段階）。

【観点別評価】：各教科について「関心・意欲・態度」などの観点ごとに評価するもの。

2 学校名及び当該教諭

学校名 横浜市立港南台第三小学校 校長 内山 聖司（うちやま せいじ）

児童数：281名 教職員数：27名

所在地 横浜市港南区港南台二丁目14番1号

当該教諭 20代教諭

3 経過

10月11日（金） 前期の通知表を配付した。

11月28日（木） 14:45頃 個人面談時、児童1名の保護者から当該教諭に対して、通知表の評定について質問があった。

11月29日（金） 8:30頃 当該教諭は、校長に保護者から評定に関する質問があったことを報告した。その後当該教諭は、校長の指示で校務システム及び成績一覧表を確認し、誤記載に気付いた。

13:10頃 当該教諭は副校長、学年主任に誤記載を報告した。副校長は出張先の校長に伝えた。

15:30頃 副校長及び当該教諭が、家庭訪問して説明と謝罪を行い、正しい通知表に差し替えた。

16:30頃 学校は、全学年の成績を再点検し、他に誤りがないことを確認した。

4 誤記載が発生した主な原因

当該教諭は、観点別評価一覧と評定一覧を校長に提出し、一度確認を受けた後、1名分の観点別評価を訂正しました。その際に評定の訂正をしませんでした。

校長、副校長は、評定一覧と当該教諭から再提出された観点別評価一覧との整合性の確認を怠りました。また、その後の点検においても、観点別評価と評定の整合性の確認を行いませんでした。

5 再発防止に向けた取組

- 手順書を見直し、①観点別評価と評定の整合性を確認する項目、②訂正箇所が正しく訂正されているかを確認する項目を追加するとともに、点検者の欄を設け、誤記載が発生しないよう徹底します。
- 年間を通して実施する不祥事防止研修で、通知表の誤記載に関する内容を取り上げて実施します。

お問合せ先

教育委員会事務局南部学校教育事務所 指導主事室長 成田 玲子 Tel 045-843-6399